

平成21年7月8日

各 位

上場会社名 株式会社 カワサキ  
 代表者 代表取締役社長 川崎 治  
 (コード番号 3045)  
 問合せ先責任者 取締役管理部長 大下 実  
 (TEL 072-439-8011)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年12月22日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年8月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,848	107	△728	△243	△184.96
今回発表予想(B)	2,763	26	△548	△161	△123.32
増減額(B-A)	△85	△81	180	82	
増減率(%)	△3.0	△75.7	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年8月期)	2,927	234	242	186	137.52

平成21年8月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,210	191	△648	△207	△157.56
今回発表予想(B)	2,123	129	△450	△107	△81.96
増減額(B-A)	△87	△62	198	100	
増減率(%)	△3.9	△32.5	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年8月期)	2,404	244	241	178	131.42

修正の理由

(連結)

売上高は前回発表から85百万円(3.0%)減少し、2,763百万円となる見込みであります。利益面におきましては、営業利益が前回発表から81百万円(75.7%)減少し、26百万円となる見込みであります。経常利益は前回発表から180百万円増加しますが、△548百万円となる見込みであります。この要因は前回発表時に計上した「包括的長期為替予約」の評価損約782百万円が、当第3四半期連結会計期間末には幾分円安方向に有利に作用したことで約248百万円減少し、約534百万円となったためであります。結果、当期純利益は前回発表から82百万円増加し、△161百万円となる見込みであります。

なお、当業績予想は当連結会計年度末の為替レート(対ドル円、対ユーロ円)が第3四半期連結会計期間末の為替レートと同一と想定して予想しております。

当社が行っている「包括的長期為替予約」は実需に対応し、仕入コストの安定化のために実施しており、投機目的によるものではありませんが、ヘッジ会計の要件を満たしていないため、期末ごとに時価評価した上で損益処理しております。

(個別)

売上高は前回発表から87百万円(3.9%)減少し、2,123百万円となる見込みであります。利益面におきましては、営業利益が前回発表から62百万円(32.5%)減少し、129百万円となる見込みであります。経常利益は前回発表から198百万円増加しますが、△450百万円となる見込みであります。この要因は前回発表時に計上した「包括的長期為替予約」の評価損約782百万円が、当第3四半期会計期間末には幾分円安方向に有利に作用したことで約248百万円減少し、約534百万円となったためであります。当期純利益は前回発表から100百万円増加しましたが、△107百万円となる見込みであります。

なお、当業績予想は当事業年度末の為替レート(対ドル円、対ユーロ円)が第3四半期会計期間末の為替レートと同一と想定して予想しております。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上